



WASEDA University
早稲田大学



はじめよう、あたらしいコト。
鹿児島銀行

ナカダイ
ホールディングス



九州電力

2022年7月26日
薩摩川内市
学校法人早稲田大学
株式会社鹿児島銀行
株式会社ナカダイホールディングス
九州電力株式会社

持続可能な社会の構築に向けた資源循環の拠点 「サーキュラーパーク九州」（川内発電所跡地活用）の実現に向けた連携協定を締結しました

薩摩川内市（市長：田中良二）、学校法人早稲田大学（理事長：田中愛治）、株式会社鹿児島銀行（取締役頭取：松山澄寛）、株式会社ナカダイホールディングス（代表取締役：中台澄之）及び九州電力株式会社（代表取締役社長執行役員：池辺和弘）の5者は、九州電力株式会社が所有する川内発電所跡地（2022年4月廃止：鹿児島県薩摩川内市港町）を循環経済（サーキュラーエコノミー）と脱炭素化の推進による持続可能な社会の構築に向けた資源循環の拠点「サーキュラーパーク九州（略称：CPQ）」と位置づけ、5者が連携して具体的な検討を推進するため、本日、協定書を締結いたしました。

(1) 協定内容

循環経済（サーキュラーエコノミー）と脱炭素化の推進による持続可能な社会の構築に向けた資源循環の拠点「サーキュラーパーク九州」の実現に向けて、5者が相互に連携することを目的とする。

〔主な連携事項〕

- 資源循環による資源の有効活用や環境負荷低減等に関すること
- 資源循環に係る研究開発に関すること
- サーキュラーエコノミーの実現と地域の脱炭素化に向けた実証実験に関すること
- その他、持続可能な社会の構築に向けた取組みや地域の活性化等に関すること

(2) 今後の取組み

2022年度中の「サーキュラーパーク九州」における事業化判断に向けて、産官学の各領域において、協働して検討を推進していきます。

以上